

まつもと じゅん 松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治版

平成17年 4月1日号
発行 かながわ1区支部
編集長 平木 茂



4月号
2005年
No.26

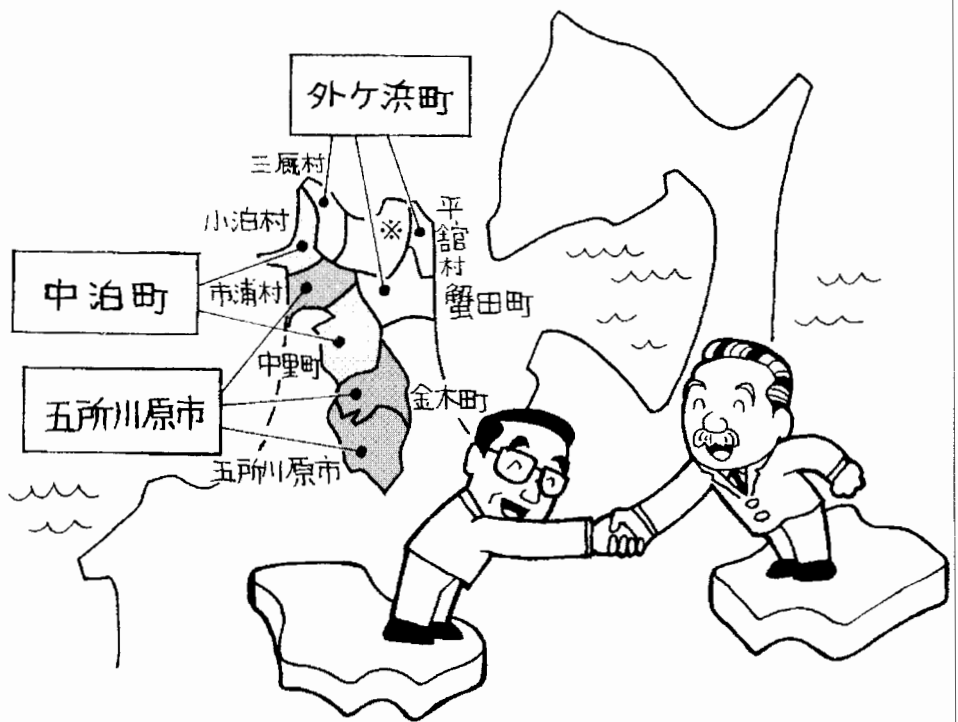
松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶検索キーワード「松本純」

「南セントレア市」は住民投票で否決されたけれど… 今、「平成の大合併」はなぜ必要なのでしょう？

「南セントレア市」。愛知県に開港した中部国際空港（セントレア空港）の南に位置する美浜町と南知多町が進めていた合併が、そのユニークな新市名とともに住民投票によって否決されてしまったという“騒動”は、皆さんもご記憶に新しいと思います。

今、全国で「平成の大合併」が進んでいます。平成11年3月に全国には「3232」の市町村がありましたが、それが17年3月現在で「2685」に減りました。実にマイナス「547」。私が政務官を務める総務省はその主管官庁ですから、私も先日、合併に関する決裁を行いました。中にはこんな合併もありました。

津軽半島の北端にある青森県
三厩村と平館村、蟹田町はその
中間にある今別町※を飛び越え
て合併して「外ヶ浜町」になり
ました。小泊村と中里町は市浦
村を飛び越えて「中泊町」へ。
その市浦村は中里町を飛び越え
て金木町とともに「五所川原市」
に合併。まるでオセロゲームみ
たいですが、それぞれに歴史的
・地理的な結びつきがあったの
でしょう。合併が住民の皆さん
のためになるよう祈らずにはい
られません。



ところで、今なぜ全国で合併が？

「合併すると合併補助金がもらえ、合併特例債も発行できるから」などといわれますが、そんな単純な話ではありません。急激に進む少子高齢化社会に対応するためなのです。地方自治体は基本的には住民が納める税金で運営されます。ところが、少子高齢化によって税収入はどんどん減ってゆき、このままでは現在の行政サービスの水準が維持できなくなります。これを防ぐには、隣り合う市町村が財布を一緒にして財政基盤を強化するしかないのです。

さらに合併によって議員の数が減り、行政機構をスリム化できるというメリットや地方分権の基盤を強化するという理由もあります。時代が市町村合併を求めているのです。そのためのお手伝いができれば、と私は思っています。

松本議員の国会レポート①⑦

平成17年

【3月3日(木)】

- 午前11時 ●ムタンゴ駐日タンザニア大使来訪
- 午前11時30分 ●総務省より説明
- 正午 ●大勇会例会
- 午後1時15分 ●イエメン最高選挙委員会のアルシャリーフ委員長来訪
- 午後4時30分 ●衆議院総務委員会

外国からのお客さんの多い一日でした。イエメンのアルシャリーフ委員長は日本の選挙制度について知見を深めるための来日。タンザニアのムタンゴ大使とは、昨年、私がタンザニアを訪問してからお目にかかることが多くなりました。外務省に、道路整備のためのODA（政府開発援助）を要請しているというお話でした。私には「横浜で友好事業をしたいので協力を」という要請がありました。皆さんのお知恵も拝借して、ぜひとも大使のご希望に沿いたいと思っています。

【3月5日(土)】

- 午後5時 ●岡村中学校第6回親睦野球大会懇親会
- 午後5時 ●かなざわミニバスケットボールクラブ全国大会出場壮行会

かなざわミニバスケットボールクラブが1月に開かれた全国大会神奈川県予選で見事に優勝、3月28日から東京都体育館で開催された全国大会に出場しました。選手の皆さんの活躍はいうまでもありませんが、井浦博基監督の指導や望月博英代表はじめ保護者会の皆さんのサポートの賜物だとも思います。私も縁あって同クラブが所属する金沢区ミニバスケットボール連盟の顧問をしていますが、これをきっかけにより多くの人にミニバスに親しんでいただきたい、と思います。

【3月8日(火)】

- 午前7時 ●金沢八景駅で早朝駅頭演説会
- 午前8時 ●総務部会
- 午前9時 ●衆議院総務委員会
- 午前11時 ●JR東日本の深沢投資計画部長と桜木町駅問題で会談
- 午後0時10分 ●参議院総務委員会
- 午後0時45分 ●代議士会
- 午後1時 ●衆議院本会議
- 午後4時 ●郵政改革に関する関係合同部会

みなとみらい21地区に隣接する北仲地区の再開発事業が動き出しました。森ビルによる高さ約200メートルの超高層複合ビルなどの建設で新しい街が誕生し、居住・通勤人口の急増が見込まれます。最寄り駅は馬車道駅ですが、さらに北仲地区・桜木町駅間の導線整備や桜木町駅の改修なども必要となってきます。この日は、こうした課題についてJR側の考えを聞きました。今後も、北仲地区と周辺の街とが均衡ある発展を図れるよう関係方面に働きかけていきます。



▲タンザニアのムタンゴ大使と



▲優勝おめでとう！
かなざわミニバスケットボールクラブ



▲参議院総務委員会で



▲六浦南小の国会見学

永田町日記 輝いています！野田聖子議員

「子どもを抱いた総理を目指す」という野田聖子さんは今、一番輝いている女性議員です。3月2日、「野田聖子さんのさらなる飛躍を期待する会」が帝国ホテルで開かれました。ところが、この日は夕方から、平成17年度予算案を採決する衆議院本会議のため議員は全員国会に足止め。聖やん（聖子さんの愛称）は予算が可決された後、大遅刻で会場に飛んでいきました。でも、ヒロイン登場までは、夫君の鶴保庸介参議院議員がつかぎ役で大活躍。私が予算成立のお礼回りをして会場に駆けつけたときは、セレモニーは終わっていましたが、顔を合わせると聖やんが一言、「だんなが参議院議員でよかった！」。聖やん、夫婦協力して総理の座を目指してください。（純）



野田聖子議員

まつもと じゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長として、街づくりや地域活動に取り組む。▶平成2年、横浜市議中区補欠選で初当選、3期務める。▶平成8年、衆議院総選挙で神奈川11区当選、専門を生かして医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人。▶平成12年の総選挙で次点落選。▶平成15年11月9日衆議院2期目の当選を果たし、総務大臣政務官に就任。